

宮内駅と宮内商店街

長岡市の歴史的ある撰田屋地区は、JR 上越線と信越線の宮内駅から簡単にアクセスできます。1970 年代に自動車文化が台頭する以前、この駅は無数の買い物客、ビジネスマン、労働者、そして宮内や酒、醤油、味噌の老舗で知られる撰田屋を観光する観光客が利用するにぎやかな経済の中心地でした。

宮内駅前の近くにある旧三国街道の一部には、宮内商店街と呼ばれる商店が軒を連ねています。20 世紀初頭の最盛期には、映画館や銭湯までありました。この通りの道には、撰田屋の実業家今井与三郎が発明し、1961 年に長岡市に初めて設置された消雪パイプが設置されています。この消雪パイプから暖かい地下水が放出され、道路の雪を溶かします。車の利用が増えるにつれ、宮内商店街に並ぶ店の数は徐々に減っていましたが、老舗がいくつか残っています。現在の商店街には、理髪店、衣料品店、米穀店、薬局、金物店、数軒の飲食店などがあります。宮内駅近くにある青島食堂は、長岡名物の生姜醤油ラーメンの元祖と言われています。

通り沿いの建物の多くは、長岡の冬の大雪でも歩行者が支障なく買い物ができるように、柱で支えられた軒が伸びています。こうした屋根のある小道は伝統的な町並みの雰囲気を醸し

ています。市は現在、住民と協力して、この地域の魅力を紹介する事業やイベントを支援して
います。